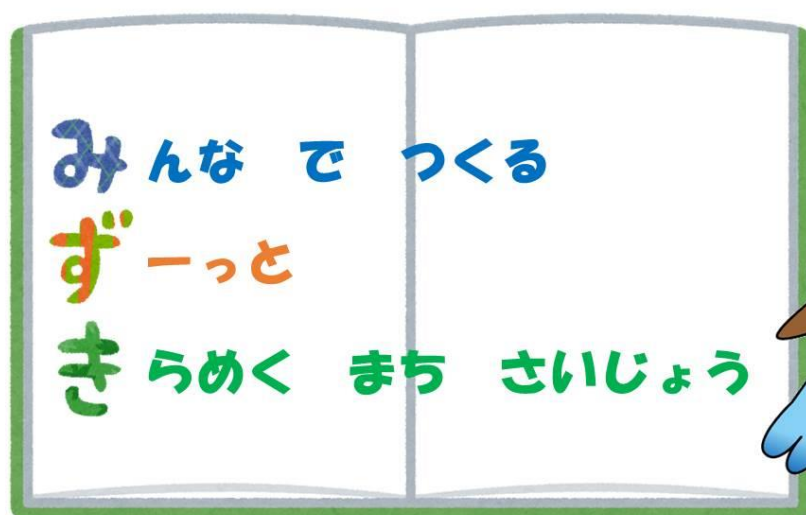


令和元年度西条市議会報告会

実施結果報告書



西条市議会
マスコットキャラクター
みずぎ議員

令和元年 12 月

西条市議会

報告書目次

1. はじめに	1
2. 実施概要	2
3. 市民の皆さんとの意見交換	7
4. アンケート結果	17

1. はじめに

西条市議会では、令和元年度議会報告会を、『行こや！聞こや！話そや！西条市議会と！！』をサブテーマに、去る10月26日（土）と10月29日（火）に開催いたしました。

議会報告会は、市民の皆様に議会のしくみや、議会が取り組んでいる議会改革、行政視察等の活動を分かりやすくお伝えすることで、議会に対する関心を高めていただくとともに、皆様との意見交換をとおり、さまざまな課題に対するご意見やご提言を直接伺い、市民に開かれた議会を目指すことを目的に開催いたしております。

この議会報告会を契機に、市民の皆様に少しでも市議会を身近に感じていただければと考えております。

また、ご参加いただいた皆様からは、多くのご提言やご要望を頂戴いたしました。これらの貴重なご意見を、しっかりと受け止め、今後の議会活動に努めて参ります。

今後も、議会及び議員に課せられた使命や役割、責務を自覚し、市民の皆様から信頼され、高い関心を得られる議会となるよう努めて参りますので、引き続き、市政発展のため、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

西条市議会議長 行元 博

2. 実施概要

(1) 名 称 『令和元年度西条市議会報告会』

“行こや！聞こや！話そや！西条市議会と！！”

(2) 開催日時等

(東会場) 10月26日(土) 午後1時～午後3時

西条市総合福祉センター B棟3階 研修室(2)

(西会場) 10月29日(火) 午後7時～午後9時

東予総合福祉センター 2階 会議室

(3) 出席議員

(東会場) 16人

佐々木 充、真鍋 顕伸、三好 和彦、井上 浩二、
御荘 秀樹、岡村 重治、越智 絹恵、行元 博、
臼坂 均、坪井 剛、西坂 壽、青野 貴司、
武田 功、一色 輝雄、堀江 幸二、藤田 節雄

(西会場) 15人

佐伯 利彦、城戸 力、高橋 保、藤井 武彦、
今井 廣一、山地美知一、川又由美恵、行元 博、
越智 俊幸、高橋 章哲、武田 功、児玉 千春、
楠 學、伊藤 新平、伊藤 孝司

(4) プログラム

- ①開会 挨拶 (東・西会場) 議長 行元 博
司会 (東・西会場) 副議長 武田 功

②議員紹介

③議会のしくみについて (議会運営委員会の報告)

報告者 (東会場) 副委員長 岡村 重治
(西会場) 委員長 児玉 千春

④議会改革について (議会活性化推進特別委員会の報告)

報告者 (東会場) 委員長 一色 輝雄
(西会場) 副委員長 高橋 保

⑤常任委員会行政視察について (各常任委員会の報告)

報告者 (東会場) 総務委員会副委員長 三好 和彦
福祉文教委員会委員長 御荘 秀樹
環境消防委員会副委員長 真鍋 顕伸
産業建設委員会副委員長 佐々木 充
(西会場) 総務委員会委員長 川又由美恵
福祉文教委員会副委員長 高橋 保
環境消防委員会委員長 佐伯 利彦
産業建設委員会委員長 藤井 武彦

《 休 憩 》

⑥市民の皆さんとの意見交換 第1部

～「地下水保全」「ゴミ」「防災・減災」について～

⑦市民の皆さんとの意見交換 第2部

～「西条の未来について」～

⑧閉会 挨拶 (東・西会場) 副議長 武田 功

(5) 参加人数

(東会場) 28人 (男性：20人・女性：4人・未確認：4人)

(西会場) 51人 (男性：39人・女性：8人・未確認：4人)

※詳細は「4. アンケート結果」をご参照ください。

（６）議会報告会の様子

《東会場》



《西会場》



3. 市民の皆さんとの意見交換

1) 第1部 ～「地下水保全」「ゴミ」「防災・減災」～ 質疑応答

<東会場>

Q ダム未利用水の松山分水は反対である。過剰な取水は、塩水化による悪影響が懸念される。

A 沿岸部の塩害については、最重要課題と位置付けています。保全策については地下水保全協議会で協議検討してきます。ダムの運営管理については、愛媛県の所管に属するものであるが、市としても加茂川流域の声を愛媛県に届けたいとのことです。

Q 同じ西条市であるにも関わらず、旧自治体によって水道料金が異なるのはなぜなのか。今後同じ行政サービスになるのですか。

A 合併時に料金統一の調整がつかなかったため、合併以降も旧自治体で異なった料金となっています。平成26年度から3年ごとに料金を改定する方法で水道料金の統一に向けた料金の改定に取り組んでいます。平成27年10月と平成30年6月の二度の改定で各地区の差は縮小しましたが、いまだに各地区でそれぞれの料金となっています。令和3年度に3度目の料金改定を行い、水道料金の統一を図る予定です。

Q 西条市の指定ゴミ袋は現在中国製のようなが、これを日本製にすることを提案する。品質が向上すると同時に内需拡大ができ、価格上昇によって市民もゴミの減量意識が身について、一石三鳥である。

A 現在、市の指定ゴミ袋は入札によって納入業者を決定しており、素材についての要項は設けていません。ゴミ袋の無料配付を継続して行うためにも、現在の品質を維持したまま、業者の選定を行っていきたいと考えます。ゴミ袋の価格上昇によってゴミの減量意識が身に付くとのことご意見は今後の検討課題とさせていただきます。

Q 燃えるゴミの中には生ごみもあるため、焼却処理に際しては助燃用として燃料を使用しているのではないかと。現在分別回収しているプラスチックゴミ、ペットボトルや食品トレイなどは、燃焼温度が高いため、一緒に焼却すれば生ごみなどの助燃材として利用できると思われる。許容可能な範囲での混焼で、ゴミ処理にかかる費用の低減につながるのではないかと。

A 現在、食品トレイは燃えるゴミとしていただいております。また、ペットボトルにおいてはご質問のとおり、混焼することにより助燃材としての役目を果たすことができますが、市としては回収したペットボトルはできる限り再

利用、資源化を目指していきます。

Q 西条市のゴミの分別方法は他の自治体と比べて簡単と聞く。計画にある再資源化率を高めるうえで、改善する必要はないのか。また、プラスチックゴミの輸出が難しくなり、処分量の増加が考えられるが、対策はないのか。

A 燃えるゴミの減量を図るため、菓子箱、包装紙、ノート等の雑紙を雑誌と一緒に資源ゴミとして分別するよう呼びかけを行っています。また、プラスチックゴミについては、さきほどもお答えしたように、食品トレーは燃えるゴミとしていただいております。さらにペットボトルにおいては、混焼することにより助燃材としての役目を果たすことができますが、市としては回収したペットボトルはできる限り再利用、資源化を目指しています。

Q 一昨年の7月に四国初の北朝鮮のミサイルに対する避難訓練を西条市で実施したが、定期化し市内各域で実施していただきたい。訓練で得たノウハウを他の自治体と共有し、国ぐるみで防災意識を高めるきっかけにしていきたい。

A 北朝鮮による弾道ミサイルの発射は、本市を含め全国的な問題であることから、今年10月2日に全国知事会、全国市長会、全国町村会の連名で抗議文を出したところです。当該ミサイル避難訓練の実施については、賛否についてさまざまな意見があることから、連合自治会と共催で実施している市総合防災訓練を行う際に、実行委員会の中で検討して参ります。

Q 指定避難場所として小松高校が指定されている。トイレの洋式化やエアコンの設置が進み、体制が整いつつあるが、土砂崩れや坂道での車の渋滞はさけられず、不安もある。避難場所の整備は進んでいるのか。

A 国では、平成25年に「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」が、平成28年には「避難所運営ガイドライン」が策定されています。ガイドライン等では、避難所におけるハード・ソフト面双方についての整備方針が示されました。本市ではハード面について、主な公民館や小中高校等の指定避難所において防災倉庫の設置やエアコンの整備を進めるとともに、ソフト面については、今年度から施設個々における避難所運営マニュアルの整備を県や県内市町とともに複数年かけて整備する予定です。

Q ソーラーパネルの山間部や農地への設置は、土砂災害の危険性を高め自然破壊につながる可能性もある。設置についてのルール作りも必要と思うが、どのようにお考えか。

A 太陽光発電設備の事業計画を把握した場合には、地域住民へのじゅうぶんな周知や説明を行うよう働きかけています。全国では、都道府県等自治体が地域の実情を踏まえ、開発行為、景観保全、防災対策、自然環境保全などの視

点から条例の制定をはじめ規制に取り組んでいる事例もあるようです。越智郡上島町においては、地域の実情を踏まえた早急な対応を図るため条例制定に至ったと伺っておりますが、地域の実情が異なる本市においては、現在のところ、条例制定の必要はないとしています。

Q プラスチックごみを、一緒に燃やすと良いのではないかという提案をさせてもらったが、どのような弊害や障害があるのかの情報をいただければと思う。

A プラスチックごみを大量に燃やすと、炉の温度が急に上がりすぎるため、安定した運転ができない可能性があります。温度を均一に保つためにも、助燃材としてのプラスチックごみの投入は、慎重に検討を進めなければなりません。

＜西会場＞

Q ダム未利用水の松山分水は反対である。過剰な取水は 塩水化による悪影響が懸念される。

A 沿岸部の塩害については、最重要課題と位置付けています。保全策については地下水保全協議会で協議検討してきます。ダムの運営管理については、愛媛県の所管に属するものとなりますが、市としても加茂川流域の声を愛媛県に届けたいとのことです。

Q 西条市の指定ゴミ袋は現在中国製のようなが、これを日本製にすることを提案する。品質が向上すると同時に内需拡大ができ、価格上昇によって市民もゴミの減量意識が身について、一石三鳥である。

A 現在、市の指定ゴミ袋は入札によって納入業者を決定しており、素材についての要項は設けていません。ゴミ袋の無料配布を継続して行うためにも、現在の品質を維持したまま、業者の選定を行っていききたい。ゴミ袋の価格上昇によってゴミの減量意識が身につくとのことのご意見は今後の検討課題とさせていただきます。

Q 一昨年7月に四国初の北朝鮮のミサイルに対する避難訓練を西条市で実施したが、定期化し市内各域で実施していただきたい。訓練で得たノウハウを他の自治体と共有し、国ぐるみで防災意識を高めるきっかけにしていきたい。

A 北朝鮮による弾道ミサイルの発射は、本市を含め全国的な問題であることから、今年10月2日に全国知事会、全国市長会、全国町村会の連名で抗議文を出したところです。当該ミサイル避難訓練の実施については、賛否についてさまざまな意見があることから、連合自治会と共催で実施している市総合防

災訓練を行う際に、実行委員会の中で検討して参ります。

2) 第2部 ～「西条の未来について」～ 質疑応答

<東会場>

Q 公聴会が今月10月7日に開催されたが、平日の昼に開催するのは、一般のお勤め人が参加しにくいと思う。

公聴会では議員定数の削減と議員報酬のアップについて討論しているが、私はどちらの案にも反対である。議員定数の削減については、議員が少なくなること、議員のかたがたの専門性が失われることが懸念される。また、各議員の組織環境が強く影響してくる懸念がある。

最後に、国民の給料が低いと言われている中で、議員報酬のアップと言うのは納得しかねる。

A 貴重なご意見ありがとうございます。平日に公聴会を開いたことで参加できなかったかたがいることにつきましては、今後の課題と思っております。

議員定数については、市民の大半のかたは、議員定数を下げろと言う意見だと思います。一方、専門家の中では定数を下げるべきと言う意見は少なくなっています。定数の算出方法は、近隣他市と合わせる方法や地域別に定数を決める方法、学校単位で定数を決める方法、人口割で算出する方法、などいろいろな方法がありますが、我々が採用したのは常任委員会の適正人数を基準にする方法です。市の行政組織は12の部署に分かれていて、それを議会では4つの委員会に分かれて審議しています。1つの委員会で適切に調査、審議、議論が行えるのは8人前後が定説となっており、我々は1委員会を7人として4つの委員会で28人を算出しました。

議員報酬につきましては、平成16年の合併時に合併特例法を適用して2市2町の議員合計数78人でスタートしました。報酬金額は、旧の西条市議会を少し下回る額に統一してスタートし、平成17年に34人、平成21年に30人と削減し、15年が経過しておりますが、報酬の改正はされておらず、この間報酬等審議会などで議論がしっかりと行われているのかどうか疑問に感じております。また現在の報酬額は、全国の同規模の102自治体の中で下から4番目ということで、私たちも報酬が低いと感じておりますが、そこをどうするのか、ただ、報酬を上げるというだけでは市民の皆様には納得してもらえないということで議論を重ねて参りました。報酬額の決め方は、近隣市に合わせる方法、部長職の給料に合わせる方法などいろいろな方法がありますが、私たちは、全国町村議会議長会が推奨している市長の実務時間数と議員の実務時間数を比べて市長の報酬額から議員の報酬額を算出する方法を採用しました。

Q 報酬は、議会が決めると言う事か。

A 定数については議会で決めますが、報酬については、議会では決められません。報酬等審議会が市長に答申し市長が決定するものです。私たちは報酬等審議会が審議をちゃんとできるように、資料を作成したいと考えております。来年2月に開催予定の報酬審議会では審議をいただく予定です。

Q 先日、市が65歳以上のかたに無料配付している市内3か所の公衆浴場の入浴券をもって公衆浴場に行ってみると利用時間が過ぎていたと言われた。翌日市の担当に聞きに行くと、市のほうではその公衆浴場と更にもう1か所の利用時間が変わっていたのを把握できていなかった。また、営業時間が変わっていることを把握した後も訂正せずに利用券の無料配付を継続し、税金を使って謝罪の文書を郵送する結果となった。対応が悪いのではないか。

A 利用券には営業時間は記入していなかったため、本庁の窓口で申請時に営業時間をお尋ねになられたかたには誤った営業時間をお伝えしてしまった可能性があります。営業時間の間違いをご指摘いただいた以降は、間違った営業時間を案内することはありませんでした。ご指摘いただいた以前に利用券を発行したかたには、正しい営業時間をお知らせする文書を郵送させていただきました。今後は事業者と連携を密にし、適切に事務を行っていききたいと思います。

Q 地域住民グループ支援事業という制度があるが、対象となるグループの基準が曖昧ではないのか。そのようなグループに月2万円を補助するのは適切なのか。介護予防活動を行うにも、資格を持った人がやらないと悪影響となる場合もあり心配である。

A 対象者の定義は「介護予防に資する活動を行おうとする5人以上の者からなる地域住民グループ、ボランティアグループ等」です。具体的には

- ① 介護予防に資する活動を行うグループ
- ② 地域の高齢者の訪問活動を行うグループ
- ③ ①②のほか、市長が必要と認めたもの

へ支援する定義となっています。報酬についてはボランティアのグループでするので無報酬が原則ですが、講師への謝礼金や交通費、会場利用料、資料作成費用などについては、活動状況を確認したうえで、月2万円を限度に委託料として支払っているものであり、全てのグループに一律2万円を支払っているわけではありません。

Q 議員の皆さんがいろんな所を視察し感じたこと、西条市の外を見て初めて気づいた、西条市が他の町に誇れるまだ磨かれていない原石、こんな素晴らしいものがあると言う事があれば、5つぐらい教えてもらいたい。その中で市民の私たちも一緒にできることを考えていきたい。

- A まず議員の視察の目的、意義、期待される効果についてお答えします。市議会には、4つの常任委員会があり、各委員会の所管に準じて西条市の短期的・長期的に解決しなければならない課題について、問題点を精査し先進地の視察先を決定しています。西条市が抱えている課題に対して、先進的に問題解決に取り組んでいる行政の現状や市民反応など、インターネットなどの情報だけで知ることのできない各種対策の生の情報やその後の動向を得るために現地におもむき調査・研究します。これは、全国の地方自治体との競争に勝つための情報収集に大いに役立ちます。また、市民生活に直接関係する、ゴミ処理・福祉・子育て・高齢者生活・産業・商業・農林水産業・少子化問題などの行政が担うさまざまな課題の中で、優先的に解決しなければならないことを市民ファーストで捉えられる視察研修でもあります。これらの視察で得たものは、市民サービスの向上の為に西条市に政策案として提言をしています。詳しい視察内容と考察については、西条市のホームページに掲載している視察報告書をご覧ください。

西条市地域プログラムや西条市のポテンシャル(西条市が他の町に誇れる、まだ磨かれていない原石。こんな素晴らしいものがある)について議員の皆さんが気づいたことを5つぐらい述べてほしいとの質問については、議員間でアンケート調査をいたしました。別紙をご参照ください。また「市民の私たちも一緒にできることを考えていきたい」という貴重な御意見を頂きました。西条市では、市民の皆様から事業内容について御意見をお聞きするパブリックコメント(意見募集)などをおこなっています。このような、市民の皆様からのさまざまな御意見を念頭に置いて他市との地域間競争に勝ち残れる、市民が住みよい街になるように議会全体で今後も精進していきたいと思います。

<西会場>

- Q 公聴会が今月10月7日に開催されたが、平日の昼に開催するのは、一般のお勤め人が参加しにくいと思う。
- 公聴会では議員定数の削減と議員報酬のアップについて討論しているが、私はどちらの案にも反対である。議員定数の削減については、議員が少なくなること、議員のかたがたの専門性が失われることが懸念される。また、各議員の組織環境が強く影響してくる懸念がある。
- 最後に、国民の給料が低いと言われている中で、議員報酬のアップというのは納得しかねる。
- A 公聴会を平日のお昼にというご意見は、そのとおりと思います。公聴会の開催は、西条市議会でも例がないため、今回はこのような日時とさせていただきます。今後は開催日時に配慮しながら進めたいと思います。
- 議員定数と議員報酬に関しては、メディア等でも報道され関心を持たれていると思います。議員定数については、現在30人に対して、28人にしてはど

うかという議論がありますが、決定はしていません。みなさんにご意見をいただきたいということで、パブリックコメントを実施していますので、ご意見があるかたは市議会ホームページをとおしてご意見をお願いします。議員報酬については、誤解をされているようですが、議員報酬はわれわれで決めることができません。報酬について、最終的に決めるのは市長です。ただ、市長もなんの参考事例もなく決定することができないので、議会活性化推進特別委員会でさまざまな研究・調査を行い、報酬額を議論しています。メディアで具体的な金額も出ましたが、決定ではなく審議中であることをご理解ください。

Q 今年の令和元年7月に参議院選挙があったが、全体の投票率 48.8 パーセントに比べて 10 代、20 代、30 代は 30 パーセント台に落ち込んでいる。西条市の 10 代、20 代、30 代の投票率はどのくらいか。また関心を高めるために、どのような取り組みをしているのか。多くの若い人の意見を聞いて、若い力で西条市を支えていく事が重要と思うが、どういう活動を今後したいかをお聞かせ願いたい。

A 1) 西条市の若者の投票率の実績は以下のとおりです。

(1) 平成 28 年 7 月参議院議員選挙

10 代＝30.21%、 20 代＝32.05%、 30 代＝41.89%

高校生と思われる年齢の投票率＝（高校生全体の）64.26%

(2) 令和元年 7 月参議院議員選挙(平均的な 6 投票所の平均値。高校生は全市)

10 代＝23.85%、 20 代＝30.92%、 30 代＝38.90%

高校生と思われる年齢の投票率＝（高校生全体の）55.33%

2) 若年層の投票率の向上に向けた取り組みは、以下の様なものです。

(1) 市内の高校 5 校と定時制高校 1 校へ、選挙の啓発のための出前講座を開催しています。DVD での説明や、ゆるキャラへの模擬投票、○×クイズ等、興味を持ってもらう工夫をしています。

(2) 高校での生徒会選挙の際に、実際の選挙で使用する投票箱や記載台を貸し出しています。最近では多くの中学校も、生徒会選挙の際に貸し出しを希望するようになっていきます。

(3) 各種選挙の際に、市内のスーパーや農産物の直売市場などで、市内の高校生 10 名程度と「明るい選挙推進協議会」の委員に、共同で選挙啓発のグッズやチラシを配布してもらっています。

(4) 若い人への情報発信として、選挙の際には市のホームページや公式フェイスブックで、投票日や期日前投票の場所や時間などを発信しています。今後は他の SNS などを使用することが可能かどうか検討したいと思っています。

(5) 毎年「明るい選挙啓発ポスター」の作成を、市内の小・中・高校の生徒に依頼、募集しています。今年は 276 点もの応募があり、市の審査

で優秀作品、小・中・高校で各 10 点を県に応募し、県審査で 2 点が佳作となり、さらに 2 点は入選となり全国審査へと進みました。

Q 10 月から保育料が無償になり、すごく助かっているけれども、給食費は公立では銀行振替で口座から引き落とされているのに対して、私立では保護者が自分で振り込みをする形になっているため手数料が余分にかかってくる。それは公平ではないという声が出ており、私立が振り込みになった理由と、今後私立でも、引き落としで支払える形をとっていただきたい。

A 給食費は国の運営基準で施設（保育園）が利用者から直接徴収することになっています。そのため、現金払、口座引落、口座振込などの徴収方法や手数料負担は、保育園が決定しています。よって公立の保育園の徴収方法は市が決めますが、私立の保育園は市で決めることはできず、各私立保育園が決定しています。市が働きかけることができないことをご理解ください。

Q 議員報酬の増額案については資料が公表されていない。他市の状況などのデータを公開した資料を見れば、値上げしてもよいとも思うが、感情的に話をしても前に進まないの、資料を出していただきたい。

A 報酬に関しては、議会の中で調査研究の最中です。資料の公開ということがありますが、議会改革の一つとして推進中である情報公開、例えば政務活動費、委員会の行政視察、委員会の記録を公開していくかについては、始めたばかりです。いただいたご意見については、しっかり受け止めていきたいと考えています。

Q 議会の活性化を目的に議会にも傍聴来てくださいという話があったが、去年、傍聴した時、3 日間の会議を予定していて 2 日で終わっている。3 日間やるのであれば、きちんとした行程を組んで行うべきである。そうすればたくさんの方が傍聴して、議員の活動に関心を持ってもらえると思うが、こういった方向で検討していつてくれるのか。

A 議会の日程については、3 月、6 月、9 月、12 月に定例会が開催されます。前もって理事者側から議案が提出され、それに対する質問は議案質疑。議員が一般活動の中で調査したことを質問するのが一般質問となります。やり取りの中で、質疑が短いとか長いとかではなく、質問が多い少ないがあります。そのため、3 日間の予定をしても 2 日で終わることもあれば、3 日かかることもあります。そのため、今日はこうする、明日はこうするという線は引きにくいのが現状です。

Q 質問時間をそれぞれ組んでいるのであるから、時間読みが出来るのではない。その時間配分でやってもらえればできるのではない。

A 質問するときに事前に議員から通告がありますが、これは議員の発言時間であって、答弁時間ではありません。そのため、質問に対する納得のいく答弁があれば早く終わりますが、長くなることもあります。その調整は難しく、終われば次の議員というかたちで進行を進めていくため、現状のようになっています。学校の時間割のように議員の質疑、質問の開始時間を決めると、予定より早く終わった場合、次の議員の質問まで休憩しなければならず、開始時間を決めることは困難です。なるべく予定通りになるよう努力していきます。

Q 西条市が推し進めることができる具体的なブランドの発表、売り込んでいけるブランドや銘柄などをおしえていただきたい。市民側にとってもそれを誇らしく思え、郷土愛を育むことができる。

A 西条市も広大な農業地域があり、柿も有名であり、5つの日本酒の蔵があります。市内酒造メーカーでは、大いに宣伝いただき、輸出をはじめとした活動をされていて、商品は航空会社のファーストクラスでも使われています。こういった特産品をPRしていこうという取組をされています。太天柿という品種もあります。キウイフルーツも産地として取り組んでいます。漁業ではワタリガニにも取り組んでいます。西条市を知っていただき、西条市に来ていただくよう発信していきたいと考えています。

Q 簡潔に質問する。拉致問題をふまえ、これから西条市にも外国人が増えてくると思う。そのなかで、日本人と外国人がトラブルになったとき、西条市はどのようにするのか。以前に外国人とトラブルになったことがあるが、そのときに多文化共生という言葉が武器に使われた。西条市民、日本人の常識と外国人の常識がかみ合わないときにどのように対応いただけるのか。

A 本市においても外国人住民が増加しており、令和元年11月現在は5年前の約2倍の1,505人となっています。こうした中、外国人が暮らしやすい地域づくりを推進していくことは、地方自治体にとって重要な課題であると考えており、本市では防災面、生活面などで外国人住民を支援しています。またこれまで気づき上げてきた国際交流の経験や成果を基に、日本人（西条市民）と外国人の適切な関係を図るために、分け隔てなく状況に応じた適切な対応を行って参ります。

3) 要望

<東会場>

1. 市民の名誉と人権を守るために、市議会はしっかりと考えてもらわないといけない。
2. 私（市民）が提言した市政課題には、市議会議員もしっかり対応してほしい。

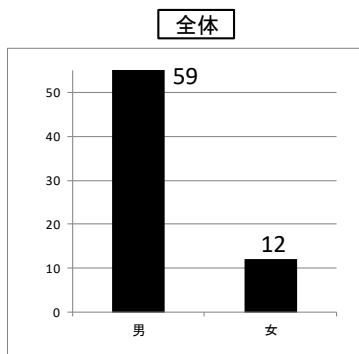
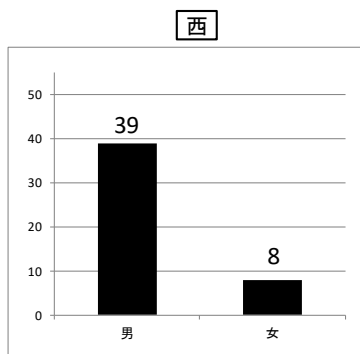
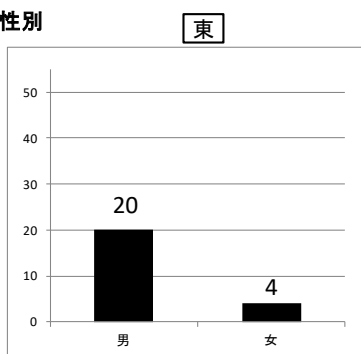
3. 市内にコンベンション（交流の場）施設が必要である。既存の施設を活用したり、民間を巻き込んだりして行う事例もある。西条市をもっと国内・国際交流ができる街にすべきだ。

<西会場>

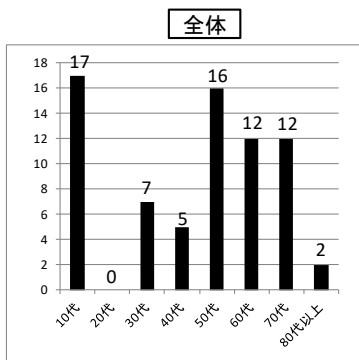
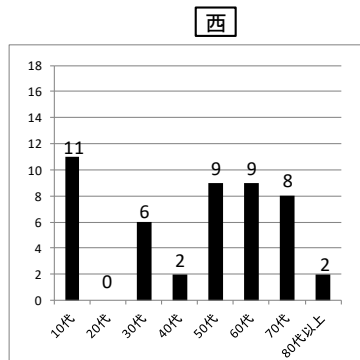
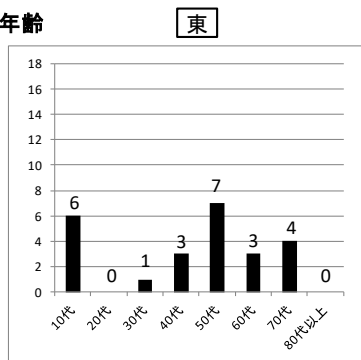
1. 私（市民）が提言した市政課題には、市長や市議会議員もしっかり対応してほしい。
2. 西条市の議員に拉致問題の啓発をしてくれとお願いした。それから1年、2年弱ぐらい経ったが、未だに市は拉致問題の啓発を行ってくれない。こんなことではこれからもし外国人と日本人の間で、文化や考え方の違いから、もめる事が合ったとき、西条市はどちらの味方をしてくれるのか不安だ。
3. 市議の報酬については、まず西条市の基本の平均年収が上がるようなことをしてから報酬を上げればよい。

4. アンケート結果 (回答いただいた東会場 24 人、西会場 47 人の結果)

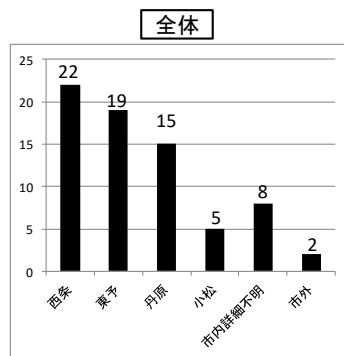
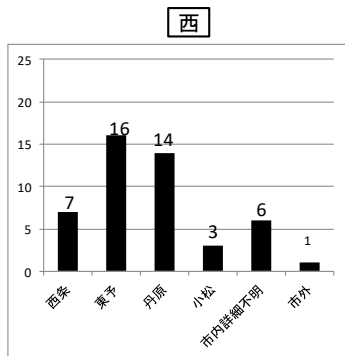
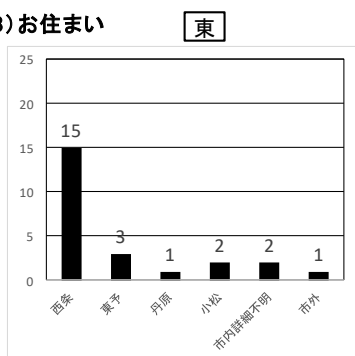
1) 性別



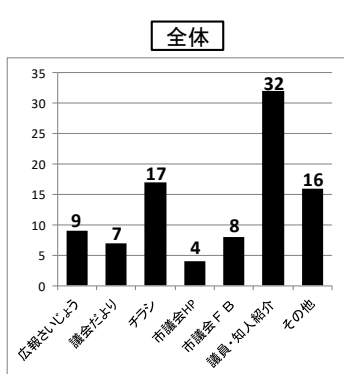
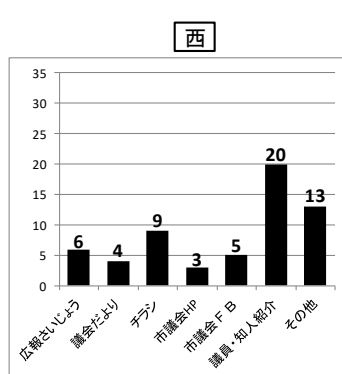
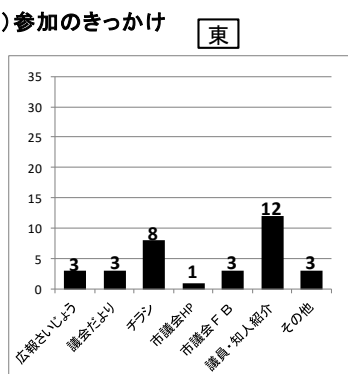
2) 年齢



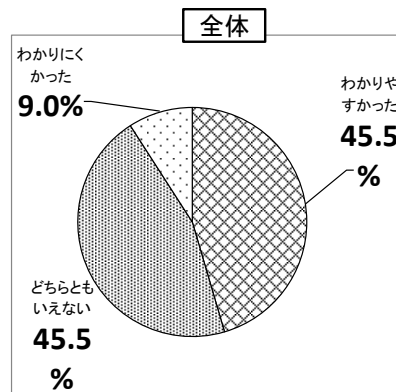
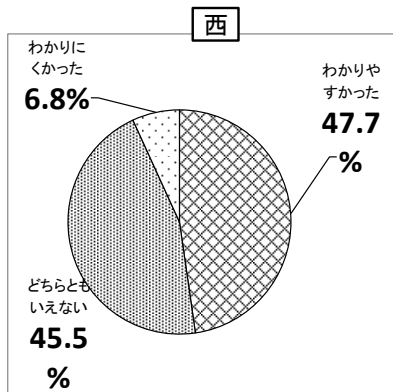
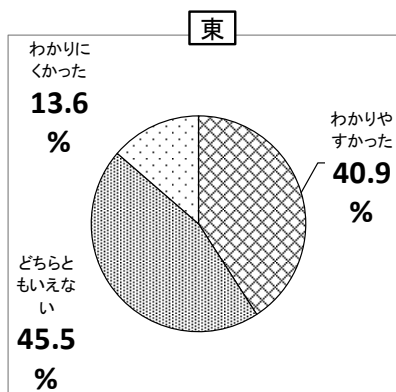
3) お住まい



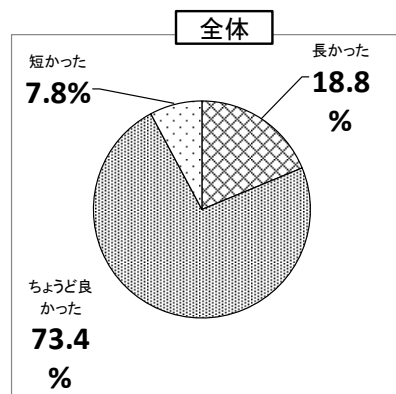
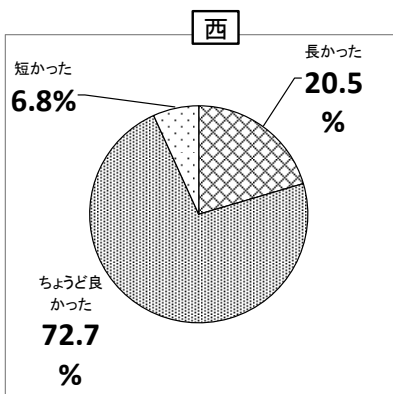
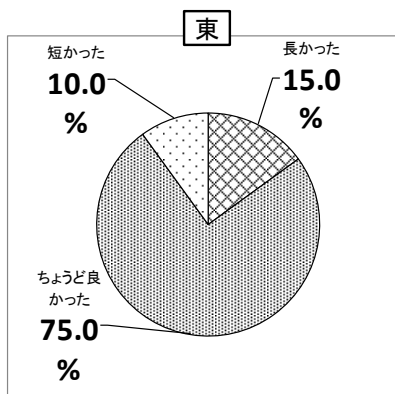
4) 参加のきっかけ



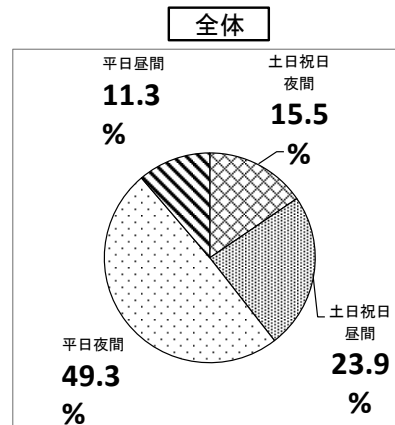
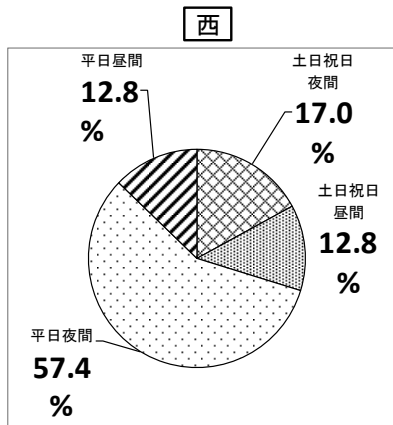
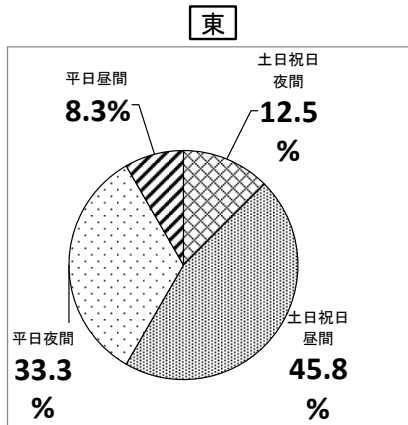
5) 説明の内容(わかりやすさ)



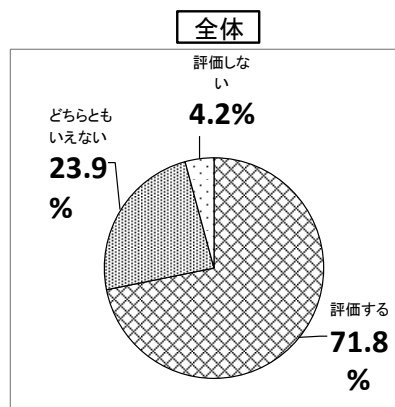
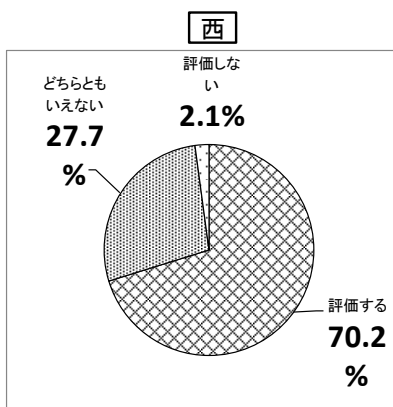
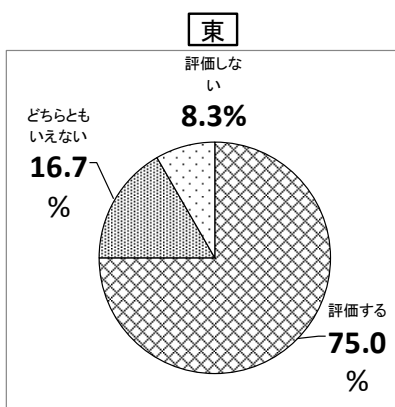
6) 説明時間(長さ)



7) 開催日・時間帯(希望)



8) 議会報告会を開催したことの評価



9) アンケートの意見

＜東会場＞

- (1) 優しく質問にお答えくださってありがとうございました。ほんとに分かりやすかったです。西条の未来についての質問を聞いて答えている時も、しっかり考えているんだな、と感じました。個人的な意見ですが、参加してとても良かったです。
- (2) 初めて参加しました。さまざまな課題を抱えている中、それに対応するための施策を市民とともに（直接）考える機会があることは素晴らしいことです。高校生の参加もうれしいことです。
- (3) 質問はあらかじめ回収して全て事前に目を通すべきではないだろうか。子どもがいることを参加者全てに理解させるべきではないだろうか。冒頭で行政と議会の違いの説明が必要では？
- (4) 議会の専門用語がわかりにくい。話の内容が市民になじみにくいいうえに、説明の言葉が難しいので、わかりやすく説明して欲しい。
- (5) 開かれた市議会を目指し、このような報告会を開いていただきありがとうございました。わかりにくいと感じたのは議員さんの説明に行政用語、専門用語が多く使われていたところです。誰でもわかる言葉で説明していただきたく思いました。議員報酬の増額については、市全体の人口減に合わせて議員定数の縮減を果たした上で、総額が現状を下回るようにしていただきたいと思います。予算の増額は多くの市民感情として受け入れられないと考えます。
- (6) 質問にたいしてご回答いただきましてありがとうございました。
- (7) 種々の活動報告があったが、それが西条市の為にどのようなになるのか？余り理解しづらい？
- (8) 報告会の開催意図が不明。市民が知りたいのは、議会のしくみではなく、具体的な活動内容（議員の開催日数、発言回数、内容）とそれに対してどのような結果が出て、次どうするのかということだと思います。市議会は何のために存在しその価値があるのかがわかる説明が特に学生が出席しているだけにしてほしい。
- (9) 各会の行政視察は必要な行事なのか？政務活動費は実際出費もないのに配分されているのですか？公共交通活性化協議会へ出席してもらったらどうですか？会議中に携帯電話がなるなどというお粗末な者がいますが、レベルを疑われますよ。ゴミ問題等の提案時に、ヘラヘラした態度と笑いは失礼だ。
- (10) いい機会なので市民が参加しやすい時間帯に開催してもらいたい。平日の夜など。
- (11) 未来についての話し合いに期待したが、全くダメだった。
- (12) 公聴会の開催は、一般勤めの人の方々のためにも土日に開いてほしい。質問を事前通告しているのに、その回答は「検討します」ばかりでがっかりし

た。

- (13) 視察の報告は参考に少しなったが、視察によりタイムリーな効果があがる視察の報告を期待します。今回より次回がよい話し合いの場となりますよう頑張ってください。

<西会場>

- (1) パンフレット通りに進めて話してくれていたののでわかりやすかったです。少しペースが速いと思いました。パンフレットの文字が少ない（大事なことが分からない）。個人的な意見ですが、参加してとても良かったです。
- (2) 何を伝えたいのか分からなかった。要点をもう少しまとめて話してほしい。
- (3) 話が少し速かったので、ついていくのに大変だった。もう少しまとめて分かりやすくしてほしい。
- (4) 私立保育園の給食費を振込みでなく、銀行振替にしてほしい。資料内の表などが小さくて見にくい。
- (5) 各委員会の行政視察について、今年度の視察の結果のみだけでなく、過去の視察を基に西条市に取り入れた成果等の紹介もあってよいのではないのでしょうか。意見交換会では、要望等も多々ありました。要望・意見の答えを何らかの方法で知らせて欲しい。
- (6) 昨年の九州豪雨や県内でも南予地方に甚大な被害をもたらした大雨、また今年においても、関東（千葉県）や東北地方に台風による大雨で非常に大きな人的、物的被害が出ています。それらのことに関連して、当地域においては、そうした自然災害に対する備えは万全でしょうか。例えば、中山川や大明神川が決壊したらと考えるとぞっとします。河川水路は市や県あるいは国の管理があると思いますが、市としても精一杯の努力をして頂きたいと思います。
- (7) 「個人の意見は答えられない」との解答でしたが、西条市にもこれから外国人が増えていく中でどうするのか返答ください。
- (8) 市が回答するとの返答が多く首をかしげる。
- (9) 1部で発言機会のない議員が寝ていて緊張感がなく残念でした。西条の未来については、建設的な意見が少なく、残念です。テーマを理解していない意見が多い、不要な意見を言う方は排除した方が良いでしょう。
- (10) このような報告会を開催されていること、すごく良いと思います。一方で、報告そのものはできれば原稿を読まずにご自身の言葉で語っていただけると、頭に入ってきやすいかと思いました。
- (11) 資料の文字が小さすぎる。サークルに分かれてのディスカッションが良いのでは（意見交換では）。これでは次回参加できない。
- (12) 大変なことも多いかと思いますが、いい機会だと思いますのでぜひ続けていただきたいと思います。進行については、もう少し工夫してみてもいいの

ではないかと感じます。

- (13) いろいろな所へ視察に行かれて努力されているようですが、この後が肝心だと思います。どれだけが実行されるか？実行できるのか？関心を持って耳を傾けていきたいと思います。
- (14) 先進地事例に学びよりよい行政をお願いします。行政視察報告はとてもよかった。
- (15) ありがとうございました。
- (16) 前半の説明については、専門用語等が多く使用され、市民の側がどれだけなされたのか疑問が残る。プレゼンに写真、動画、グラフ等を活用するなどわかりやすい説明をしていただけると参加者としてはありがたいと思う。後半の話し合いが本来の意見交換である。発言に問題があるとき、そこでどう説明するかは考えて行かないといけないのではないかな。
- (17) 公聴会の日程が一般の勤め人の方が参加しにくいので、平日の昼間の開催はやめてほしい。資料中の絵図が小さすぎて分かりにくい。室内温水プールの説明について、整備によるデメリットの紹介とその対策がなされなかったのが残念である。
- (18) 資料が見にくい。パワーポイントのままかもしれないが、印刷する時なんとかならないのか。説明後、1人ずつ説明ご質問コーナーがあれば楽です。報告、言いつばなしだけでは、意味がない。デマンド交通西条でも丹原地区は始めているのに視察にいかねばならないのか。個人的な話が長く、途中でなんとかできないのか。意見交換会とはどんなことでしょう。交換しないなら交換会だけでなく聞くだけ会にしたらいい。報告だけでは、つまらない。市への要望は結局答えがない。司会が「議員のかた・・・」というのはおかしい。「ありがとうございました」と議員に言うのもおかしい。
- (19) 初めて議会報告出席させてもらって、色々と少し勉強しました。次回も又聞かせてください。頑張ってください。

たくさんのご意見
ありがとうございます！



議員が選ぶ西条市の原石

別 紙

原 石	理 由
市之川鉦山 (輝安鉦鉦山)	歴史的価値の可能性と巨晶で美晶、世界から称賛されている市之川 輝安鉦。坑道も存在しており、まだまだ世界へ向けての潜在能力を秘めている。
外国人お遍路さん	市には、4か所の霊場が存在している。 世界遺産登録に向けて当市も構成員となっている。 オール四国と当市独自の取り組みにより、世界発信ができる。
道標めぐり	四国八十八か所の道標を四国全土に230基余りを建立した、西条市内にも多く見られる。この人は山口県大島出身で23歳の時に家を出てから78歳まで一度も故郷に帰ることなく、56年間に四国遍路を280回巡礼した前人未到の人で弘法大師空海と共に遍路の鉄人と言われ一生四国遍路を続けて78歳で没する。特に小松町に道しるべが多くある。(中司茂兵衛)
小松の偉人	田岡俊三郎は、小松藩士で槍の名士、明治維新の勤王の志士に参加し、蛤御門の戦いで戦い、小松養正ヶ丘に記念碑がある。
	黒川道範は、大正天皇の教育係を務め、昭和25年に昭和天皇の巡行の時、小松駅から黒川中尉の墓所にむかって頭を下げて手を合わせたと言われている。墓には灯籠一対を寄贈した。
	林田哲雄は、明勝寺住職の子息、農民運動を起こし農地改革と小作の権利を主張し、又同和問題に取り組み弱者を助けた。
	森田恭平は、旧西条市生まれ、大地主森田家の養子に入る。大谷池を築造し、幹線水路(約1.5キロメートル)を開削し、水田等100町歩を作り、小松駅の建設誘致にも尽力し、小松町のまちづくりの礎を築いた。
千町と天川の棚田	美しい景色と農業遺産

加茂川の青石	海外では貴重な芸術的価値が認められており、オーストリア共和国のセーボーデン市とは 2019 年 5 月に友好都市提携を結びましたが、そのきっかけは盆栽に青石が使われている。
市内 5 つの高校	地域活性化のための様々な調査や提案を行う活動が活発になっており、若い世代が西条の未来を担う期待が膨らんでいる。
市内の多くの小川や水路	湧水池から湧き出した水による水流が形成されており、小規模水力発電など再生可能エネルギーに活用できるポテンシャルを秘めている。
地域自治組織	少子高齢化、人口減少が進む時代に、行政だけに頼らない地域を良く知る住民が中心となって主体的にまちづくりを推進していくことを目指して、いま全国で必要視されています。西条ではこれに賛同する地区も出てきており、また西条祭りで培われた地元愛や若者の組織力は、地域の力になりうる可能性を感じる。
西条地区の商店街	空き店舗が多く再生が課題となっていますが、立地的には西条駅と市役所・西条高校等が集まる中心街を結ぶ動線となっており、また飲み屋街に隣接することで、飲食の人の動線を生み出す可能性を秘めている。